

令和8年1月20日

京都市避難情報・判断伝達マニュアルの 更新について

京都市行財政局防災危機管理室

①中小河川における避難情報の発令基準の設定

背景（市内の河川の状況）

- ・市内の一級河川で洪水浸水想定区域が存在するのは57河川。（下表参照）
- ・市内の洪水予報河川および水位周知河川は、水位計が設置されており、水位の情報に基づき避難情報を発令することとしている。
- ・令和3年7月の水防法の改正に伴い、京都府が中小河川の洪水浸水想定区域図を令和7年10月末までに法指定している。

市内の洪水予報河川・水位周知河川・中小河川

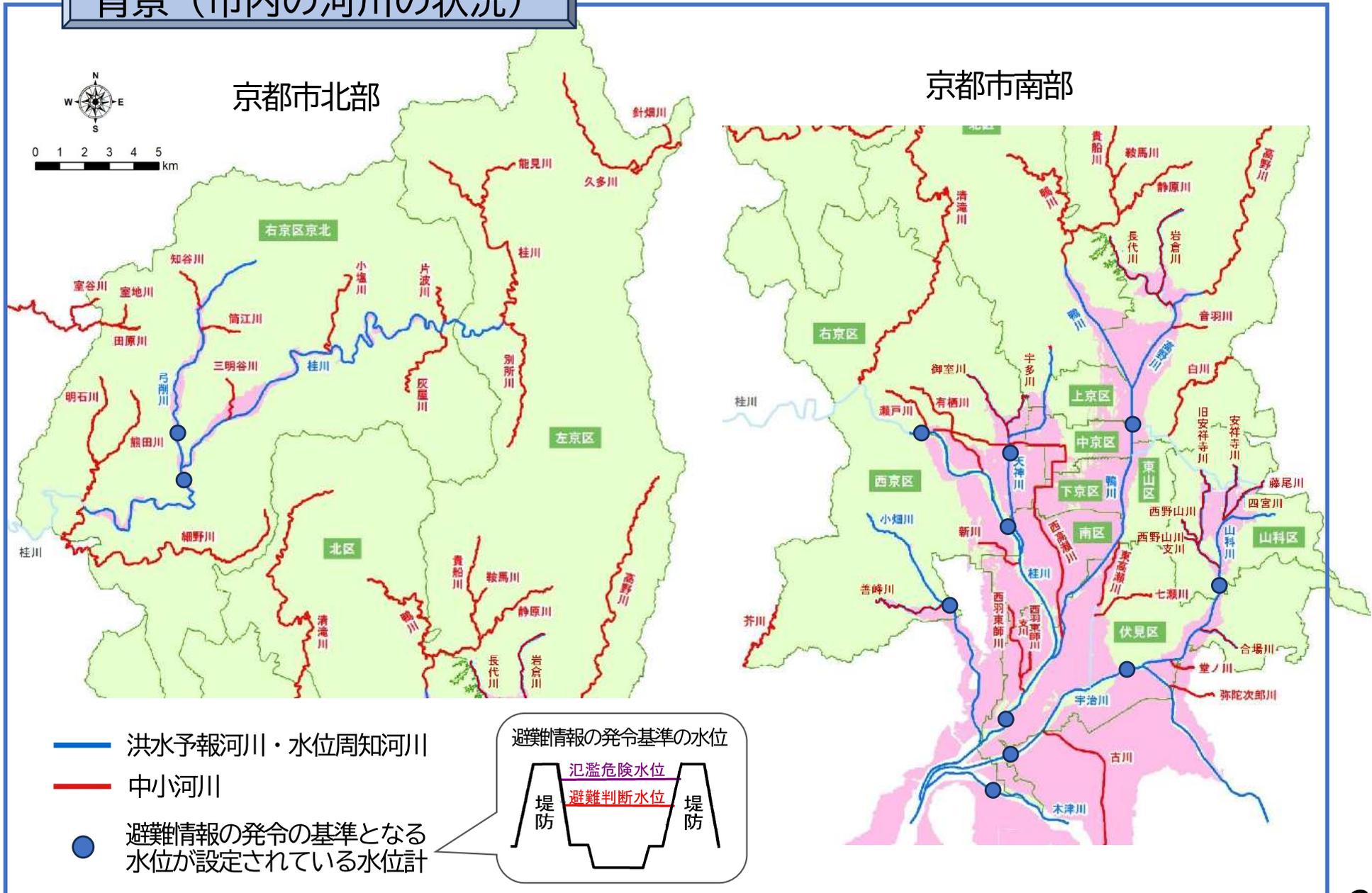
流域区分	○洪水予報河川、◇水位周知河川、中小河川	
桂川下流	○桂川下流	清滝川、瀬戸川、有栖川、新川、西羽狹師川、西羽狹師川支川
	◇天神川	西高瀬川、御室川、宇多川、天神川 [水位周知区間外]
鴨川・高野川	○鴨川・高野川	鞍馬川、貴船川、静原川、岩倉川、長代川、音羽川、白川・白川放水路、鴨川 [洪水予報区間外]、高野川 [洪水予報区間外]
宇治川及び木津川	○宇治川	弥陀次郎川、東高瀬川、七瀬川、古川
	◇山科川	四宮川、藤尾川、安祥寺川、旧安祥寺川、西野山川、西野山川支川、合場川、堂の川
	○木津川下流	
桂川上流	◇桂川上流	能見川、別所川、片波川、灰屋川、小塩川、三明谷川、細野川、熊田川、明石川、桂川上流 [水位周知区間外]
	◇弓削川	知谷川、筒工川
その他	◇小畑川	善峰川
	<その他流域>	田原川 [水位周知区間外]、室谷川、室地川、久多川、針畑川、芥川

※桂川下流、宇治川、木津川下流は国の管理河川、それ以外の河川は京都府の管理河川

※この表では、洪水浸水想定区域の指定がない一級河川（宇治川派流、濠川）は掲載していない

①中小河川における避難情報の発令基準の設定

背景（市内の河川の状況）



①中小河川における避難情報の発令基準の設定

背景

しかし、中小河川には水位計が一部しか設置されておらず、避難情報の発令の基準となる水位が設定されていないのが現状(※)。

※ 中小河川では、水位上昇の速度が大きく、避難に関するリードタイム（高齢者等避難など）の設定が困難なため

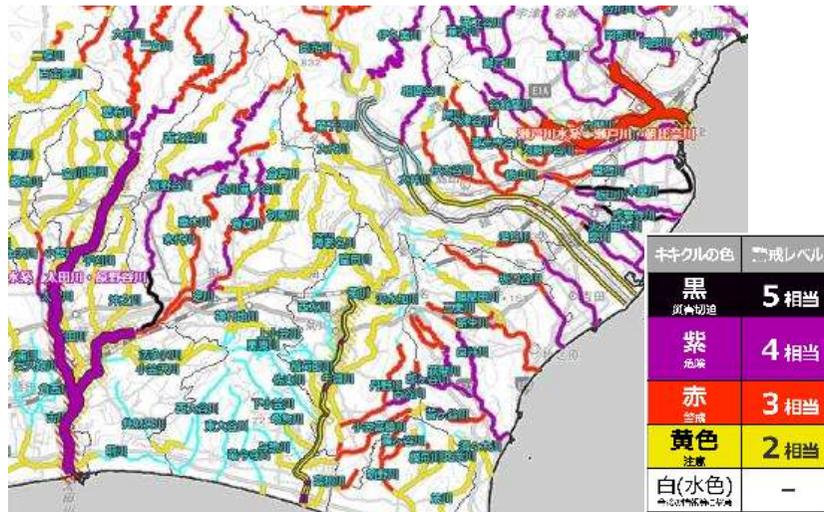
対応（洪水キキクル、危機管理型水位計）

水位計及び発令基準水位に代わる指標として、洪水キキクル、危機管理型水位計が活用可能

○洪水キキクル

大雨による水位周知河川や中小河川の洪水発生危険度の高まりを5段階の色分けで地図上に示したもの。

洪水の危険が高まる前の、避難行動に要する時間を確保するため、3時間先の予測値を用いている。気象庁のHPやスマートフォンで状況が確認できる。



※ 中小河川は、洪水キキクルで危険度を確認することができる。（ただし、弥陀次郎川、藤尾川、堂の川、室谷川、芥川はキキクル除外格子）

○危機管理型水位計

常時監視ではなく、予め設定した観測開始水位を超過した場合に、10分毎に水位の監視を始める洪水に特化した水位計。

洪水の危険が高まった際に、リアルタイムで水位情報を提供する。



氾濫開始水位は設定されているが、そのほかの避難情報の発令の基準となる水位は設定されていない

※ 中小河川では、清竜川、鞍馬川、貴船川、岩倉川、桂川上流 [水位周知区間外]、善峰川、久多川の7箇所に設置

【参考】従来型水位計（水位設定のないもの）

このほか、避難情報の発令の基準となる水位が設定されていない従来型の水位計がある。

※ 中小河川では、鴨川 [洪水予報区間外]、高野川 [洪水予報区間外]、岩倉川、長代川、安祥寺川、旧安祥寺川、細野川、御室川、西高瀬川の9箇所に設置（そのほか、洪水予報河川や水位周知河川で、約20箇所に設置）

①中小河川における避難情報の発令基準の設定

背景

中小河川の洪水浸水想定区域に対する避難情報の発令基準は、洪水キキクル（洪水警報の危険度分布）等を用いて以下のとおり設定する。

対応

中小河川の洪水浸水想定区域に対する避難情報の発令基準は以下のとおり。〈R8から〉

警戒レベル	避難情報	発令基準	
		各河川	下流の状況
5 黒	緊急安全確保	<ul style="list-style-type: none"> ・水位が氾濫開始水位に到達するおそれがある場合（危機管理型水位計が設置されている場合に限る） ・破堤等により氾濫が発生した場合 	下流の洪水予報河川・水位周知河川の区間に避難情報が発令される等、当該中小河川の危険度が高まった場合
4 紫	避難指示	<ul style="list-style-type: none"> ・洪水キキクル(洪水警報の危険度分布)で「危険」(紫)が出現し、かつ、降雨状況等によって氾濫の危険度がさらに高まると見込まれる場合 	
3 赤	高齢者等避難	—	

※P.2の河川のうち、弥陀次郎川、藤尾川、堂の川、室谷川、芥川はキキクル除外格子（発令の対象外）
発令は、「下流の状況」の要件を満たした上で、上流の「各河川」の状況を考慮して行うことを原則とする。

ただし、降雨や河川毎の状況により、これによらず発令をする場合がある。

（判断にあたっては、周辺の水位計（危機管理型、水位設定のない従来型）の水位も考慮する。）

②中小河川における避難情報発令時の開設避難場所

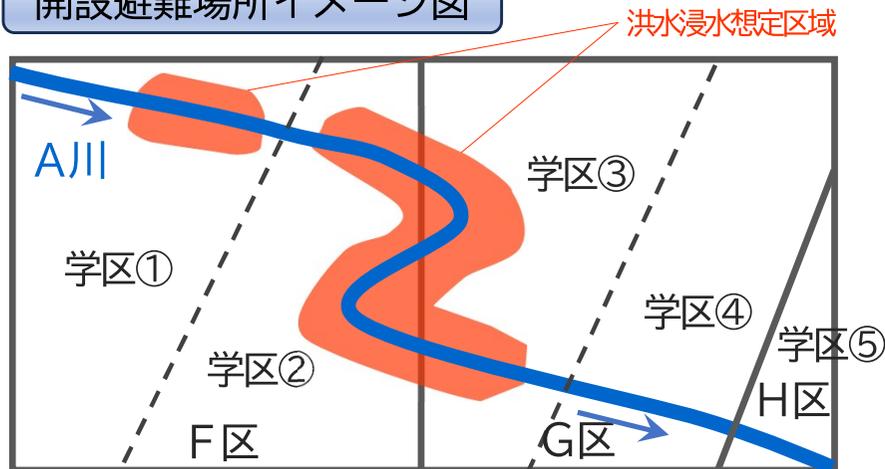
背景

中小河川では、洪水浸水想定区域が沿川全体ではなく途切れて存在していることも多い。避難情報を発令する場合、キキクルで危険となった区間の洪水浸水想定区域を特定し、その周辺の指定避難場所を開設することが望ましいが、気象状況に応じて時々刻々とキキクルの危険となる箇所が変化していくケースもあり、開設場所を絞ることは難しい。

対応

避難情報発令の際に開設する避難場所は、当該中小河川の沿川全体において、洪水浸水想定区域が存在する全ての学区の指定緊急避難場所を開設対象とする（※）。〈R8から〉

開設避難場所イメージ図



中小河川	該当区	開設避難場所（※）
A川	F区	学区①の避難場所、学区②の避難場所
	G区	学区③の避難場所
	H区	—
B川

※ 大雨時に初動で開設しない避難場所は除く。

なお、中小河川の浸水想定区域図の追加により、新たに指定緊急避難場所(洪水)の設定を要する区(学区)は、以下の3区(14学区)となる。

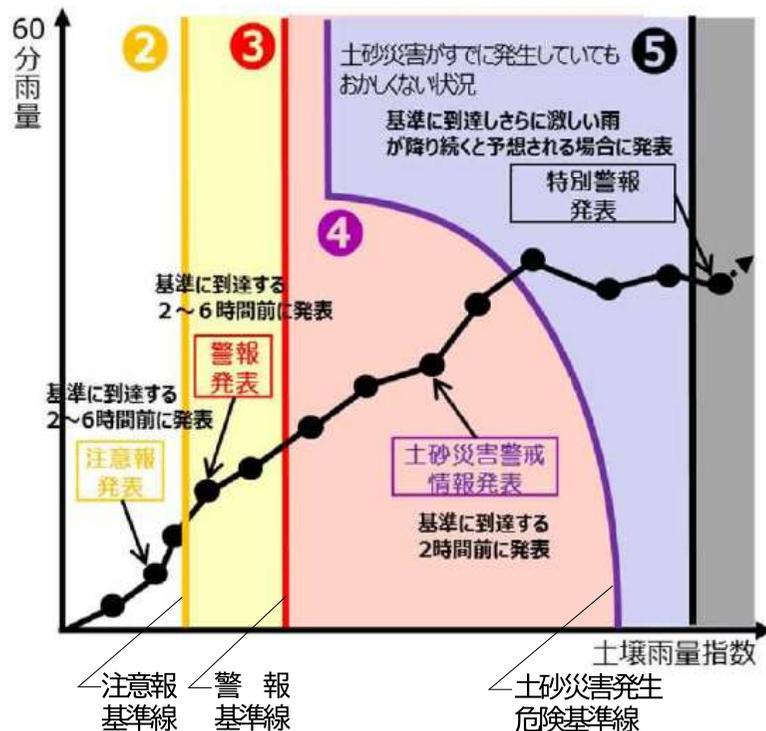
- ・北区(中川、小野郷、雲ヶ畑)
- ・右京区(広沢、高雄、細野)
- ・左京区(錦林東山、浄楽、八瀬、大原、静原、鞍馬、広河原、久多)

③土砂災害に関する避難情報の発令基準の改定

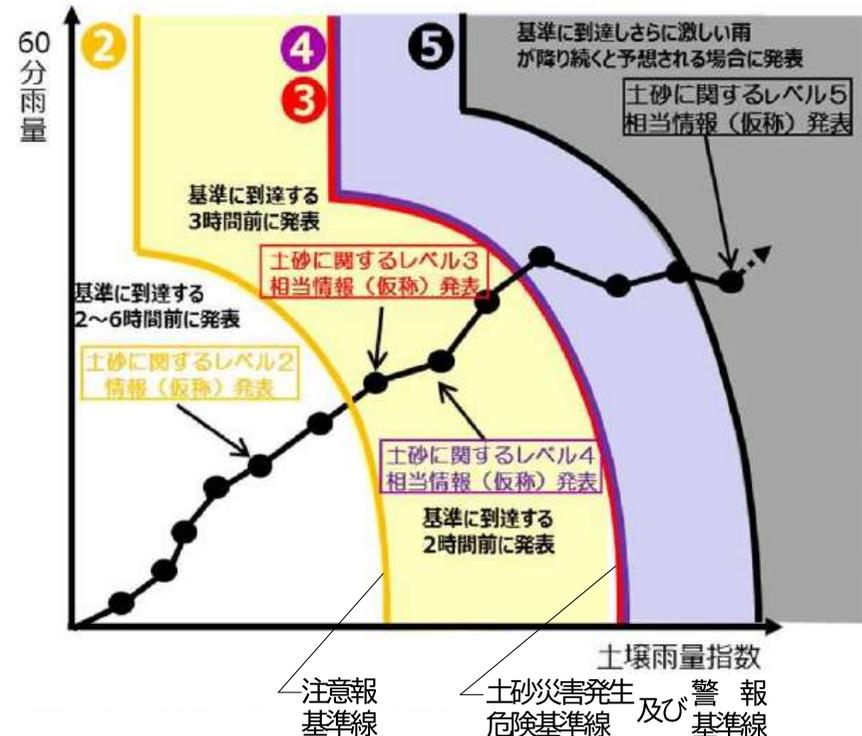
背景

令和6年6月に気象庁でとりまとめられた「防災気象情報の体系整理」によると、土砂災害に関する情報は、大雨注意報と大雨警報の土壌雨量指数基準線が、これまでの土壌雨量指数の1要素による基準線から、60分雨量と土壌雨量指数の2要素による基準線に変更され、令和8年度出水期から運用開始される（ただし、大雨警報の基準線は、土砂災害発生危険基準線と同一で設定される）。これに伴い、警戒レベル3相当情報は、これまでより発表数が抑制される一方で、土砂災害の危険性が従来より切迫した状況（土砂災害発生危険基準線に到達する3時間前）で発表されることとなる。（下図のとおり）

<現行基準>



<改善(案)>



※図中の黒丸は、60分雨量と土壌雨量指数を1時間毎にプロットしたもの。

③土砂災害に関する避難情報の発令基準の改定

対応

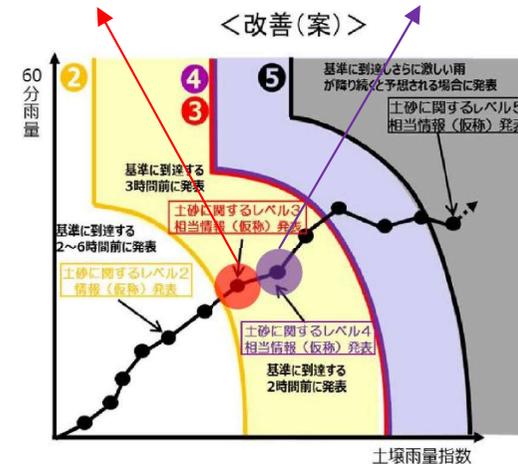
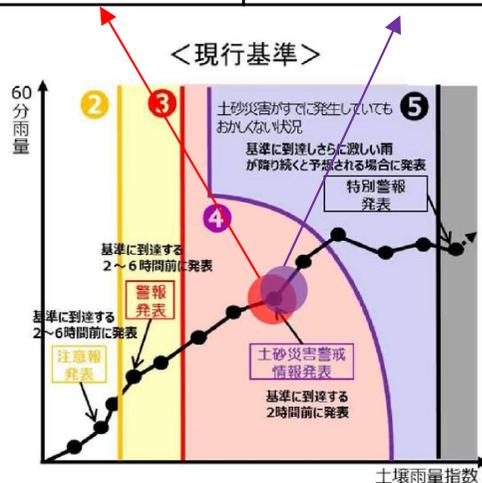
警戒レベル3相当情報の発表タイミングが変更される機会をとらえて、本市の高齢者等避難（警戒レベル3情報）の発令基準を下記のとおり見直す。

〈これまで〉

大雨警報（土砂災害）が発表され、以下の条件を満たしたとき	
警戒レベル3 高齢者等避難	警戒レベル4 避難指示
京都府土砂災害警戒情報システムの土砂災害危険度が「危険」（紫）となったとき	
かつ、 土砂災害警戒情報が発表されたとき	

〈R8から〉

土砂災害警報が発表され、以下の条件を満たしたとき	土砂災害危険警報が発表され、以下の条件を満たしたとき
警戒レベル3 高齢者等避難	警戒レベル4 避難指示
京都府土砂災害警戒情報システムの土砂災害危険度が「警戒」（赤）となり、 かつ、 土砂災害発生危険基準線に到達する3時間前となったとき	京都府土砂災害警戒情報システムの土砂災害危険度が「危険」（紫）となったとき (=土砂災害発生危険基準線に到達する2時間前となったとき)



※発令は、該当する危険度メッシュが存在する学区（の土砂災害警戒区域内）を対象とする。

ただし、線状降水帯などの降雨の状況によっては、これによらず早期に発令する場合がある。

(参考) 防災気象情報の名称変更

背景

令和6年6月に気象庁でとりまとめられた「防災気象情報の体系整理」に伴い、防災気象上は、以下のとおり名称が変更される。(令和8年度出水期から運用開始)

新しい防災気象情報の情報体系とその名称

	大雨浸水 低地の浸水や 小さな河川の氾濫	河川氾濫 1級河川などの 大きな河川の氾濫	土砂災害 急傾斜地のがけ崩れや 土石流	高潮 海水面の上昇や 高波による浸水	住民が 取るべき行動
5	レベル5 大雨特別警報	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保!
----- <警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難! > -----					
4	レベル4 大雨危険警報	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
3	レベル3 大雨警報	レベル3 氾濫警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
2	レベル2 大雨注意報	レベル2 氾濫注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認(避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど)
1	早期注意情報				災害への心構えを高める